

後発医薬品使用状況と患者の意識



福島県開局 株式会社 メディカル・コア ふたば薬局
鍛冶内大輔 小畑信子 紺野明子 佐藤博美 佐藤美緒 佐藤幸
佐藤隆 長谷川重 柳沼久美子 齋藤賢一 田口章

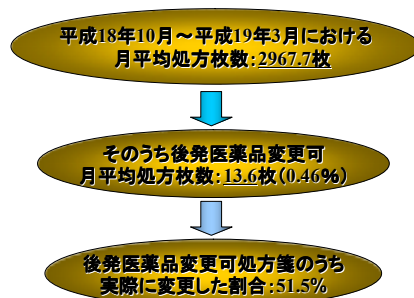
目的

後発医薬品服用患者に対して、後発医薬品に対する満足度、薬剤師に求める後発医薬品情報、そして服用状況の把握のために本調査を実施した。

調査方法

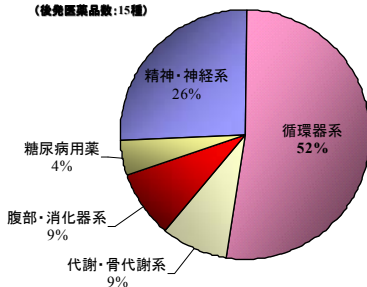
- ・ 期間:平成18年10月～平成19年3月
- ・ 対象:調査期間中に、後発医薬品に変更した症例(17例)
- ・ 方法:アンケート形式

後発医薬品変更率



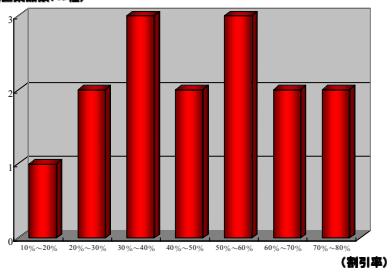
後発医薬品に変更した医薬品分類

(後発医薬品数:15種)



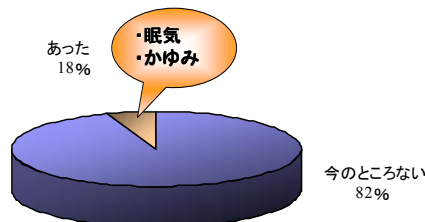
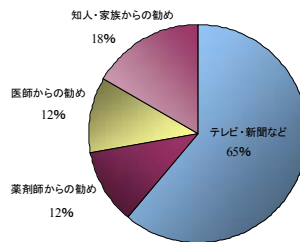
先発医薬品薬価からの割引率

(後発医薬品数:15種)

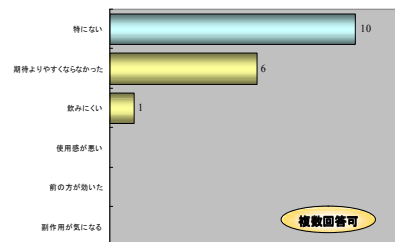


(割引率)

後発医薬品変更の経緯

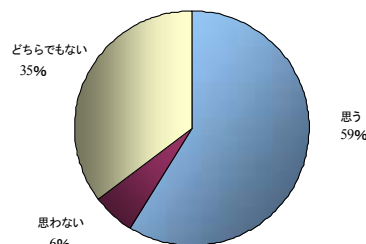


後発医薬品に対する不満

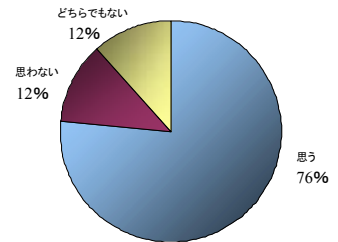


過半数の患者は、「不満は特になし」と回答

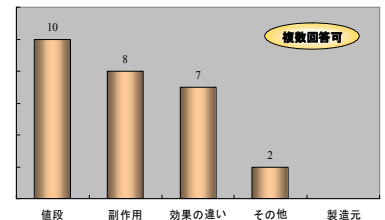
後発医薬品に変更して良かったと思うか



他薬も後発医薬品に変更したいと思うか

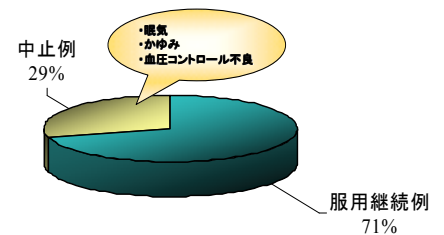


薬剤師に求める後発医薬品情報



金額面・安全面に關し、納得した上で服用してもらうことが必須

後発医薬品服用中止例



考察

- ・ 薬剤師に対して、負担金情報を求める患者が多かったが、服用中止例が多い結果となり(29%),服用患者を注意深くモニタリングする必要があると考えられる。
- ・ 品質に関しては、厚生労働省に認可されていることを前提として受け止めるべきではあるが、育薬の概念からしても、服用患者に対してのデータを蓄積し、評価し、さらに医療機関との十分な連携が必要であると考えられる。

まとめ

- ・ 今後、後発医薬品を管理する上でも、在庫増加、品質に対する不安はあるが、患者のニーズに臨機応変に対応し、最善の医療を提供できるように努めることが薬剤師の責務として重要であると考えられる。